

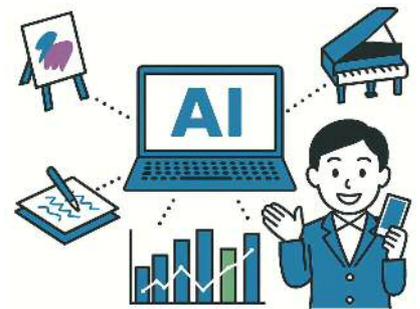
難しくない！ビジネスで活用してみよう

生成AIとは

最近話題の“生成AI(人工知能)”、「ITは苦手だし、難しそう」と思っていませんか。生成AIは、誰でも簡単に使える便利なツールです。生成AIはまだ使ったことがないという方に、ポイントをまとめました。

■生成AIとは

生成AI(人工知能)とは、文章・画像・音声などを自動で作り出す技術です。例えば、「新商品のキャッチコピーを考えて」「会議の議事録をまとめて」といった指示(“プロンプト”といいます)に対して、AIが即座に回答を生成します。これにより、業務の効率化・アイデア出し・情報整理などがスピーディに行えるようになりますとされています。



■生成AIでできること(業務改善の一例)

- ・書類作成の自動化→見積書・案内文・議事録などを短時間で作成。(時間短縮&人的ミスの防止)
- ・情報収集・分析→市場動向や競合情報を効率的に調査。(企画・営業戦略の精度向上)
- ・翻訳・メール文作成→海外取引先とのやり取りもスムーズに。(グローバル対応力の強化)
- ・アイデア出し・相談相手→商品企画や広報戦略の壁打ち役にも。(新しい発想のきっかけに)

■生成AI利用時の注意点

- ・情報の正確性→AIの回答は必ずしも正しいとは限りません。
- ・情報流出リスク→個人情報や社外秘の内容は入力しないことが重要です。
- ・著作権・商標の侵害→他社のロゴやデザインに似たものなどを生成される場合があります。
- ・モラルと責任→AIに頼りすぎず、最終判断は人間が行うことが大切です。

■生成AIにうまく指示するための4つのコツ～プロンプト(指示)の工夫～

①目的を明確に

- ×「求人広告を作って」
- ◎「20代若手の営業職を採用したい中小企業、求人広告文を作って」

②条件を具体的に

- ×「新商品のアイデアを出して」
- ◎「30代女性向け美容雑貨で、3,000円以内、ギフト需要を意識した商品アイデアを3つ出して」

③回答形式を指定

- ×「比較表を作って」
- ◎「今年の上半期の売上・利益・在庫数を比較する表を、横軸に商品名、縦軸に数値で作って」

④文体・トーンを指定

- ×「社内報に掲載する記事を作って」
- ◎「社員向けにやさしい言葉でAI活用のメリットを説明した社内報記事を作って」

参考:生成AIはじめの一步～生成AIの入門的な使い方と注意点～(総務省)

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/generativeai/